

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
210022019	ハングル Hangul	木村 淑			1	選択	2後期

科目の概要

DP1にある建学の精神、社会人基礎力、職場と地域の人々と協働して解決していくことができる人材になることを目指します。DP2にあるように、ライフスタイルのデザインを提案するために必要な衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身に付け、地域再生に貢献することができ、自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる人材になることを目指すための科目の一つでもあります。本講義では、多様化する社会の中で日本語以外の言語である韓国語でもコミュニケーションと取れるようになることを目標とします。授業では「ハングル」の文字体系（子音・母音・終声子音）を習得し、読む、聞く、話す、書くの4機能を通して、韓国語の基礎力が身に付くと、同時に、自学自習のために学習技術を身に付けます。さらにこの科目では、ことばと文化の関係についても学び、コミュニケーション上の課題を解決する力を学びます。これらの学修を通してpisa型学力の3つの力を修得します。

学修内容	到達目標
① ハングルの母音を習得する。 ② ハングルの子音を習得する。 ③ 母音と子音、終声子音(パッチム)の組み合わせを習得する。 ④ 韓国語で自己紹介が出来るようにする。 ⑤ 韓国語で簡単な文章の作成と基礎的な会話を身につける。	① ハングルの母音を理解することが出来る。② ② ハングルの子音を理解することが出来る。② ③ ハングルで単語を表記することが出来る。② ④ 韓国語で自己紹介することが出来る。③④ ⑤ 韓国語で文章の作成と簡単な会話をする事が出来る。③④

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	ハングルの音韻を書きながら発音練習をするなど自己学修ができる。
	働きかけ力	コミュニケーション能力を高めるため、他者に声掛けをして韓国語の会話練習に取り組むことができる。
	実行力	ハングルの文字体系が理解できるように繰り返して声を出して発音練習をすることができる。
考え抜く力	課題発見力	ハングルの音韻原理に基づいて日本語との違いを認識し、正確な発音ができるように理解することができる。
	計画力	・発表の準備や課題やテストの期間を守りやり遂げることができる。 ・グループ内での役割分担、手順を順序よく進めることができる。
	創造力	日本語との語順の類似性を生かし、自ら韓国語の文章を考えることができる。
チームで働く力	発信力	自己アピールポイントを簡単な文章にまとめ、みんなの前で発表することができる。
	傾聴力	他の学生の発表を聞いて、自分との違いを比較することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	講義中の私語、無断欠席、遅刻など授業に支障をきたすことはせず、ルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「ひかりとシフのどきどき韓国語」都恩珍監修／李正子・金昭鎭著 朝日出版社

他科目との関連、資格との関連

英語を履修した学生が英語以外の外国語を身につけることで、様々に変化する社会環境により柔軟に対応できる。

学修上の助言	受講生とのルール
・配布プリントとノートは、専用のファイルにまとめて置くようにして下さい。 ・講義後は授業内容を必ず復習するようにして下さい。 ・	・授業で配布した資料の予備は保管しません。出席者から借らせてもらうようにして下さい。 ・携帯電話は、電源を切ってカバンにしまっておいてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	50	①	✓			①小テスト、単語と表現の読み書きを復習中心に出題する（20点） ・小テストによって、平常の力を評価します。 *毎週のテストの点数の平均と、復習の程度なども加味します。 *小テストとしては、pisa型学力の①②③「知識・情報等の資源を獲得する力、活用する力、ならびに、活用して解決する力」が発揮できているかどうかを評価できるものを出します。 *小テストの出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝えます。 （獲得・活用）知識を獲得し、知識を使って問題に正しく解答できる。 （解決）間違えた個所と未修得の知識を認識してきちんと復習し、次回は正しく運用できる。 ②まとめテストを実施する（30点） 小テストで出題された単語や文章を中心とする。 pisa型学力の①②③「知識・情報等の資源を獲得する力、活用する力、ならびに、活用して解決する力」が発揮できているかどうかを評価できるものを出します
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
		レポート	15	①	✓			課題は返却されたテストの間違った問題を再度間違いのないよう解いて提出する ・学習状況によっては、上記に加え、テキストの各単元の単語と練習問題を解いて提出する場合がある ・間違いがある場合、指示通りにやれてない場合は再提出となる ・間違いを直せず再提出が多い場合は、レポート評価が下がる可能性があるなので必ず提出前に自身で見直しをすること
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	25	①	✓			①母音の歌を歌う、以下の点を基準に評価する（10点） ・暗記して歌えるか ・大きい声、且つ正しい発音で歌えるか ・歌う合う振付であるか ・グループの評価で点数がつく ②テキストの本文をベアで口頭発表し、以下の点を基準に評価する（5点） ・暗記して発表すること ・正しい発音で発表すること ・個人ではなく、ベアの評価で点数がつく ③自己紹介の口頭発表を行い、以下の項目を基準に点数をつける（10点） ・正しく暗記して発表出来るか ・正しい発音で発表出来るか（唇の形に気をつけて発表出来るか） ・流暢、且つ、大きい声で発表出来るか
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）・語学力を身に付けるために自ら予・復習をすることが出来る。（実行力） ・授業で学修した内容を日常的な場面で意識的に活用することが出来る。（課題発見力） ・様々な会話の場面をイメージしてそれに必要な言葉を覚えることが出来る。（創造力） ・学修した文法や単語を応用して自分の表現に変えることが出来る。（発信力） ・人の前で韓国語を使って自己アピールをすることが出来る。（傾聴力） ・韓国語の発音を正確に聞き取り、真似をすることが出来る。（規律性） ・無断欠席、学修意欲の欠如など授業に支障をきたす行動をせずルールを守ることが出来る。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)まとめテスト、小テストが90%であり、授業中の態度、レポートの提出、グループワーク活動が優れている。 A(優)まとめテスト、小テストが89%～80%であり、授業中の態度、レポートの提出、グループワーク活動に積極的に参加できる。	B(良)まとめテスト、小テストが79～70%であり、授業中の態度、レポートの提出、グループワーク活動に意欲的に参加できる。 C(可)まとめテスト、小テストが69～60%であり、ハンガルの文字表を見ずに、文字が読める。発表の際に、明瞭な発音で発表することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 文字編 第1課 ・1, 母音五つ (ㅏ, ㅑ, ㅓ, ㅕ, ㅗ, ㅛ) 2, 子音四つ (ㅇ, ㄹ, ㄱ, ㅋ) を学ぶ。 ・初めて会う人と挨拶が出来るようになることを目的とする。	講義 質疑応答 (google forms) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・ハングルの仕組みを理解することが出来る。 ・授業で学習した母音と子音を読むことができる。 ・初めて会う人と挨拶することができる。	(復習)・母音と子音の読み書きを練習して、単語を書けるようにする。(30分) ・挨拶が出来るように繰り返し音読する。(10分) (予習)・第2課の基本母音と子音三つを読んでおく。 ・2課本文「私は学生です」を音読する。(20分)	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
2	文字編 第2課 ・1, 基本母音 2, 基本母音と子音四つの組み合わせを学ぶ。 ・「私は大学生です」を韓国語で言えるようになることを目的とする。	講義 発音練習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・授業で学習した母音と子音の読むことができる。 ・「私は大学生です」を韓国語で言うことができる。	(復習)・母音と子音の読み書きを練習して、単語を書けるようにする。(10分) ・自己紹介の表現の一つである「私は大学生です」のフレーズを繰り返し音読する。(50分)	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
3	1課、2課の復習 母音と子音の組み合わせの単語を正しく読み、書けるようにすることを目標とする。	講義 ペアワークでの発音練習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	母音と子音の読むことができ、自己紹介の一つである「私は大学生です」をいう事が出来る。	(復習)子音四つと母音10個を組み合わせ、読み、書きが出来るように復習する(40分) (予習)次回子音五つと母音と組み合わせで音声を聞きながら読んでおく。(20分)	60	主体性 実行力 計画力 規律性
4	文字編 第3課 ・子音五つを学ぶ。 ・「ありがとう」と「さようなら」の挨拶を言えるようになることを目的とする。	講義 発表 ペアワークでの読む練習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・授業で学習した子音を読むことができる。 ・「ありがとう」「さようなら」を韓国語で言うことができる。	(復習)子音九つと母音10個を組み合わせ、読む、書くが出来るように復習する。(40分) (予習)「ありがとう」と「さようなら」の挨拶確認する。(20分)	60	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
5	文字編 第3課 ・子音五つの復習 ・1課～3課を復習して、正確な読み、書きが出来るようになることを目的とする。 ・母音の歌を歌う	講義 グループワークで歌の練習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・授業で学習した合成母音Ⅰ、パッチムⅠを読むことができる。 ・「どこですか?」を韓国語で言うことができる。	(復習)1課から3課までの練習問題の単語を暗記する。(40分) (予習)4課P17ポイント1の合成母音を合成母音の単語を音声を聞きながら繰り返し読んでおく。(20分)	60	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	文字編 第4課 ・1, 合成母音Ⅰ 2, パッチムⅠ 3, 連音化Ⅰを学ぶ。 ・「どこですか」という疑問文が言えるようになることを目的とする。	講義 ペアワークでの発音練習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・授業で学習した合成母音、パッチムがある文字を読むことができる。 ・「どこですか?」を韓国語で言うことができる。	(復習)合成母音、パッチムを復習し、単語の読み書きが出来るようにする。(40分) 「どこですか?」の疑問詞を使った質問が出来るよう、繰り返し音読する。(20分)	60	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
7	文字編 第4課復習 ・合成母音、パッチム、連音化を復習して、正しく読み、書きが出来るようになることを目的とする。	講義 ペアワークでの発音練習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・授業で学習した合成母音Ⅰ、パッチムⅠを読むことができる。 ・「どこですか?」を韓国語で言うことができる。	(復習)合成母音、パッチムを復習し、単語の読み書きが出来るようにする。(40分) 「どこですか?」の疑問詞を使った質問が出来るよう、繰り返し音読する。(20分) (予習)第5課の激音、合成母音Ⅱ、日本語のハングルの表記を読んでおく(20分)	60	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 規律性
8	文字編 第5課 ・1, 激音 2, 合成母音Ⅱ 3, 日本語のハングル表記を学ぶ。	講義 グループ・ディスカッション 発音練習 小テスト (間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・激音、合成母音を読むことができる。 ・日本語をハングルで表記することができる。 ・お店での簡単な注文を韓国語で言うことができる。	(復習) 激音、合成母音の読み書きを練習して、単語が読めるように復習する。(40分) 日本語のハングル表記を復習して、自分の名前を韓国語で書けるようにする。(20分) お店での注文で使うフレーズを音声を聞きながら繰り返し音読する。(10分)	60	主体性 実行力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	文字編 第5課 激音、合成母音を復習して、正しく読み、書きができるようになることを目的とする。	講義 ペアワークでの発音練習 小テスト（間違えた問題を解きなおして提出する） 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	・激音、合成母音を読むことができる。 ・日本語をハングルで表記することができる。 ・お店での簡単な注文を韓国語で言うことができる。	（復習）激音、合成母音の読み書きを練習して、単語が読めるように復習する。（20分） 日本語のハングル表記を復習して、自分の名前を韓国語で書けるようにする。（20分） お店での注文で使うフレーズを繰り返し音読する。（10分） （予習）第6課のバッチムⅡ、連音化Ⅱ、合成母音Ⅲ、激音化を音声聞きながら繰り返し読んでおく。（10分） 本文6課「お誕生日おめでとうございます」を音読する。（20分）	60	主体性 実行力 計画力 規律性
10	文字編 第6課 ・1, バッチムⅡ 2, 連音化Ⅱ 3, 合成母音Ⅲ 4, 激音化を学ぶ。 ・「お誕生日おめでとうございます。」を韓国語で言えるようになることを目的とする。	講義 ペアワークでの発音練習 小テスト（間違えた問題を解きなおして提出する） 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	パッチム、合成母音を読むことができる。 連音化と激音化を学ぶことでパッチムのある単語を正しく発音することができる。	（復習）パッチムと合成母音の読み書きを繰り返し練習して、単語を読めるように復習する（20分） 「お誕生日おめでとうございます」のフレーズを繰り返し音読する。（40分）	60	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 規律性
11	文字編 第6課 バッチム、連音化、合成母音、激音化を復習して、正しく読み、書きができるようになることを目的とする。	講義 ペアワークでの発音練習 小テスト（間違えた問題を解きなおして提出する） 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	濃音を読むことが出来る。 ・「どうですか？」の質問に対する答えが言えるようになることを目的とする。	（復習）・濃音を復習し、単語の読み書きが出来るように復習する。（10分） ・「どうですか？」に対する答えを繰り返し音読する。（50分）	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
12	文字編 第7課 ・濃音を学ぶ。 ・「どうですか？」の質問に対する答えが言えるようになることを目的とする。	講義 ペアワークでの発音練習 小テスト（間違えた問題を解きなおして提出する） 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	濃音の単語を読むことが出来る。 どうですか？に対する問いの質問の答えが出来る。	（復習）テストに備えて前期の内容を単語を中心に復習して暗記する。（30分） （予習）濃音の発音を音声聞きながら聞きながら、繰り返し読んで発音を確認すること。（30分）	60	主体性 実行力 計画力 規律性
13	文字編 第7課 濃音を復習して、正しく読み、書きができるようになることを目的とする。	講義 ペアワークでの発音練習 小テスト（間違えた問題を解きなおして提出する） 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	濃音を読むことが出来る。 「どうですか？」に対する答えが出来る。	（復習）・濃音を復習し、単語の読み書きが出来るように復習する。 ・「どうですか？」に対する答えを繰り返し音読する。（20分） （予習）8課のバッチムⅢ、濃音化、漢数詞を読んでおく。（20分） まとめテストに備えて今まで実施された小テストの単語や文章を覚えて書けるようにする。（40分）	60	主体性 実行力 計画力 傾聴力 規律性
14	まとめテスト実施	講義 テスト 質疑応答にてフィードバックする	実践的な会話文が言える。	（復習）前期の内容の単語と会話表現を復習する。（30分） （予習）次回に発表する自己紹介やテキストの本文を暗記して発表出来るようにする。（30分）	60	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 傾聴力 状況把握力 規律性
15	自作の自己紹介と会話表現の動画を見て、自己紹介と簡単な会話ができるようになることを目標とする	オンデマンド配信 発表 質疑応答にてフィードバックする	自己紹介と実践的な会話文が言える。	復習：前期の内容を復習する。	60	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力